

女性の自律を育んできた先駆者 135年の歴史を繋ぐキャリア教育

東京家政大学 / 東京家政大学短期大学部

Tokyo Kasei University

女性の自律を育んできた 135年の歴史

世界経済フォーラム(WEF)は、毎年男女平等指数ランキングを発表している。2015年に発表されたランキングで、日本は145カ国中101位。これは先進国の中できわめて低いランクだ。(グローバル・ジェンダー・ギャップ・レポート2015※)。

それでも日本はこうした現状を変えるべく、ようやく本腰を入れて動くようにしている。女性が活躍できる社会を実現することを日本の成長戦略の柱とし、「女性が輝く日本」の実現に向けてさまざまな政策が実行されようとしている。

長く女性の地位が向上しないままに来てしまっている日本社会だが、その中でいち早く女性の自律を

唱え、女子教育を積極的に行ってきたのが東京家政大学だ。その歴史は1881年(明治14年)にまで遡る。

校祖渡邊辰五郎氏が、東京家政大学の前身である「和洋裁縫伝習所」を創立した当時は、女子の就学率は男子の半分にも満たず、女性に学問は不要と考えられていた時代。しかし、平均寿命が40歳を欠けるといふ時代にあつて、夫を戦争や病気で失うと、とたんに生活は困窮した。そんな社会情勢の中で、手に職を持ち、誰かに頼り切ることなく、必要が生じたときには自分で決断し道を選択できるということは、この時代を生きる女性にとって大きな意味を持つていたのである。そしてこの考え方こそ、現代まで受け継がれている同大学の建学の精神である「自主自律」にほかならない。

志を受け継ぎ、卒業生が 100校以上の学校を創設

さらに渡邊氏が教育者として偉大だったのは、裁縫という自ら生計を立てられる技術を身につけることだけに留まらず、読み・書き・算術などの教養教育を併せて行うことだ。「指導者の育成」に尽力したことだろう。こうした渡邊氏の志を受け継ぎ女性が自律することの大切さを学んだ卒業生たちは、「自主自律」の精神を二人でも多くの人に伝えようと次々と全国に学校を立ち上げた。その数は実に100校以上。渡邊氏が掲げた「自律して生きる女性の育成」は、まさに女性のキャリア教育の先駆けであった。

同大学の卒業生でもある学長の川合貞子氏は「キャリア」というのは

東京家政大学の歴史

1874 明治7	裁縫教授にあたり、縫形尺、袖方、襦方を考案
1877 明治10	「裁縫掛け図」による一斉授業
1880 明治13	「普通裁縫教授書」著 全国の女子師範学校・女子学校の教科書となる
1881 明治14	これが現在の「家庭科」のもとになる 「和洋裁縫伝習所」を本郷湯島に設立 「普通裁縫算術書」著
1886 明治19	渡邊辰五郎氏ら34名が伝習所内に「共立女子職業学校」(現・共立女子大学)を創設
1892 明治25	「東京裁縫女学校」に改称
1894 明治27	「家庭婦人の教養教育を目指す」
1895 明治28	大日本女学会の通信教育で、全国の4万人が渡邊辰五郎氏の裁縫を受講
1900 明治33	女子英語学校 女子美術学校開学
1901 明治34	日本女子大学開学
1902 明治35	教員養成会開設
1904 明治37	裁縫教授法・家政・国語・算術・教育を開講
1905 明治38	榎山正弉(明治38卒)・榎山今(明治36卒)現・榎山女子大学創設
1906 明治39	日露戦争
1896 明治29	日清戦争

明治に誕生し、いち早く女性のキャリア教育に取り組んできた東京家政大学。その「自主自律」の精神を受け継いだ卒業生たちは、次の世代を育てるべく次々と学校を設立していった。その志の原点を紹介する。

取材・文 / 今野雅晴

※出典:「The Global Gender Gap Report 2015」(WEF: World Economic Forum)

学生時代に自然と身についたことが、私の基盤になっています



1997年家政学部児童学科卒業
東京家政大学附属
みどりヶ丘幼稚園勤務
本村 真弓さん

私は東京家政大学の附属幼稚園に勤務しています。ここで幼稚園教諭として働く中で、私が持っている子どもたちに対する意識というのは、大学で培われたものが基盤になっているということを実感しました。研修などで、他の幼稚園の先生と接する機会が増えるにつれ、自分の中に根づいているもの大きさに気づくことが多いのです。私は川合学長の教え子でもあるのですが、大学時代、今に生きる創造力や多くの引き出しを作ってくれたのが川合先生の「児童学実習」でした。これは、子どもたちを学校に招いて自分たちで苦労しながら作った保育計画を実践していくという、学生自身が主体的に行う授業です。保育の現場で「遊び」を通して子どもたちの成長を支えていくには、定型なことだけでなく、子どもたちの状況に合わせて保育を組み立てていくというクリエイティブな要素が必要です。この授業で試行錯誤したことはまさにそのプロセスを実践することでした。この子どもの反応を見ながら適切な保育を展開するというプロセスは、今もやり続けている私自身の保育の基本です。他にも、子どもたちの内面を見ていくことの大切さや、「人を大切に思う気持ち」を子どもたちに芽生えさせるにはどうすればいいかなど、大学で学んだことが、いろいろなところに生きています。



8万3000㎡の広大な敷地を持つ狭山キャンパス。地域に人気の子どもクリニックや保育所を備え、学生たちと地域住民との交流も活発

常に新しい女性の生き方を支援

建学以来135年を迎える同大学の卒業生はゆうに10万人を超え、その多くが自分の専門性を活かして活躍している。また、2014年には医療・

ただ仕事に就くことではなく、人間として自分の人生をどう生きていくのかの設計であると言う。「専門的な知識や技術、技法の修得はもちろん大切ですが、それを社会に還元できる人間力と人間性を育てることは大学教育の役目であると感じています」。



東京家政大学 学長
川合 貞子氏

保育系の2学部を新設。両学部がある狭山キャンパス内には子どもクリニックと保育所を備え、地域に開かれたキャンパスへと整備された。学生たちはここで日常的に子どもたちや保護者とふれあい、体験的に学びを深めていくことができる。渡邊辰五郎氏は、建学の理念の中で「新しい時代に即した女性の育成」と述べた。東京家政大学には明治の一人の教育者の志が今も脈々と受け継がれている。

Information

東京家政大学／東京家政大学短期大学部



1881年設立の「和洋裁縫伝習所」を前身として1949年創立。家政学部(児童学科・児童教育学科・栄養学科・環境教育学科・服飾美術学科・造形表現学科)および人文学部(英語コミュニケーション学科・心理カウンセリング学科・教育福祉学科)、短大(保育科・栄養科)はいずれも板橋キャンパス。2014年度に看護学部(看護学科)、子ども学部(子ども支援学科)を狭山キャンパスに新設した。

●DATA

東京都板橋区加賀1-18-1／埼玉県狭山市稲荷山2-15-1
TEL 03-3961-5228 (アドミッションセンター)
URL <http://www.tokyo-kasei.ac.jp/>

義務教育が尋常小学校6年となる	1907 明治40	満田ユイ(明治39卒) 現・志學館大学創設
1912 明治45	寺部だい(明治38卒) 現・愛知学泉大学創設	
1915 大正4	安田リヨウ(明治40卒) 現・安田女子大学創設	
東京女子大学開学	1918 大正7	
大学令制定	1919 大正8	
慶應義塾大学、早稲田大学、日本大学、中央大学、法政大学、明治大学等開学	1920 大正9	「東京女子専門学校」と改称
第2次世界大戦終戦、女性参政権獲得	1922 大正11	「東京女子専門学校」と改称
	1924 大正13	今村敏(大正13卒) 現・東北女子大学創設
	1945 昭和20	東京大空襲により湯島校舎を焼失
	1946 昭和21	板橋にキャンパスを移転
	1949 昭和24	「東京家政大学」設置
	1986 昭和61	狭山キャンパス開設
	2009 平成21	家政学部・人文学部の新体制へ
	2014 平成26	看護学部、子ども学部設置

卒業生が続々と学校を創立